

慶応三年四月二十八日より慶応三年五月三日まで

P8310680right

(袋井)七時半前袋井着、小柴□偶□来る

廿九日子 晴

第四時半前袋井出立、掛川宿に到り廿四日、本の一條、猶取調へ京地(但図両州)へ御用状出す、

日咎を□

(金谷)せしより今明兩日の休泊わり替追触を出す、第九時に同所を出十二時すぎ金谷午休み

五時過

(岡部)岡部着

晦日丑 朝陰漸晴夕前又陰

(江尻)第三時半過、岡部出立、第九時半過江尻午休、岩渕本陣 より途中携て天畑硯(※)一面を

さし出す追て

(原)序を以謝の積り、第六時半過原着、宰吉名刺を投ず

P8310680left

五月

朔日寅 晴夕陰夜暴雨

(箱根)第三時半前原出立、沼津にては先払足輕壱人出断り□よう、十時半前箱根午休本陣川田にて酒肴の設け

(小田原)あり謝銀遣す、五時過小田原着、先払足輕兩人出断り□う、仁兵衛名刺を投ず

二日卯 曇漸晴

(酒匂川留)第五時過ぎ小田原出立、然処酒匂川留の注進有し引返し前の本陣に到る、弥一  
来り、大磯迄渡航の議あり

右船の儀頼□□たき趣にて宰吉来る、午下より栄助弥一を誘て漁獵に出散歩して帰る、右魚を  
分贈し

遣す、当宿町奉行より名刺を投ず

三日辰 陰午下より雨

\*「天畑硯、「あめはたすずり」でしょうか、雨畑硯は有名な逸品のようにです。

□印は解読未了の文字です。私の実力ではすぐ解読できません。